

市内の出来事

立ち直れ竜巻被害から

市内小中学生が募金活動

5月6日に発生した竜巻により、甚大な被害の出たつくば市の被災者に義援金を送ろうと、小絹中学校区内の小中学校、伊奈中学校区内の小中学校の児童生徒が連携し、募金活動を行いました。

小絹中学校区（小絹小、小絹中）では、募金呼び掛けのチラシを作成し、校内で配布。5月31日、6月1日の2日間、小中学校の昇降口に、小絹小運営委員の児童、小絹中央委員の生徒が、登校した児童生徒に「募金にご協力ください」と呼び掛けました。

伊奈中学校区（小張小、豊小、谷井田小、三島小、伊奈中）では、



▷小絹小学校での募金活動の様子

6月2日にきらくやまふれあいの丘で開催された、社協まつり会場で、各学校の児童会、生徒



社協まつり会場内での募金活動の様子

小絹駅に手作り座布団を寄附

会の皆さんが、訪れた多くの来場者に、募金を呼び掛けました。今回の募金活動で集められた

義援金は、今後、片庭市長から市原つくば市長へ手渡されます。

茨城県で38番目にできた、ガールスカウト茨城県第38団は、「自分たちが住んでいる地域で何か役に立つことをやろう！」と、小絹駅に手作りの座布団を寄附しました。この活動は結成から毎年続けてこれられ、10回目になります。ガールスカウトでは現在、幼稚園から高校生までの13人の少女たちが、さまざまなことにチャレンジしています。団委員

長の庭川弘子（にわがわひろこ）さんは「ガールスカウト活動には、『自己啓発』『人との交わり』『自然とともに』の3つのポイントがあり、1人の力はとても小さいですが、一緒に力を合わせればいろいろなことができることを少女たちは体験しています。つくばみらい市に、そんな少女たちがもって増えたらうれしいです」と話してくれました。ガールスカウト茨城県第38団では、随時団員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。（団委員長・庭川弘子 ☎52-6210、リーダー・前田（まへだ）早苗（さなえ） ☎52-6068）

初めての田植えに奮闘中

小学6年生が田植え体験

総合的な学習の一環として、伊奈地区の小学6年生が、市の保有する土地を有効活用し、5月25日に田植え体験を行いました。

当日は、茨城みなみ農協の職員の方から、田植えのやり方について説明を受けた後、元気に田んぼに入っていました。

初めて田んぼに入るという児童がほとんどで、一步一步慎重に足を進めながら、慣れない手つきで一生涯命苗を植えました。

秋には、自分たちで植えたお

米を学校給食や学校行事で消費します。秋になるのが待ち遠しいですね。



うまく植えられてるかな？



寄附をするガールスカウトの皆さん